

文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞

学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げたとして「令和6年度文部科学大臣優秀教職員表彰」を受賞しました。

■受賞者（職名と所属は受賞当時のものになります。）

氏名	職名	所属	主たる功績等受賞理由
窪田 洋一	主幹教諭	福生第六小学校	学級経営の充実による経営参画と人材育成の推進
上條 大樹	主任教諭	福生第一小学校	社会科教育の推進
前野 優介	教諭	福生第六小学校	特別支援教育の推進

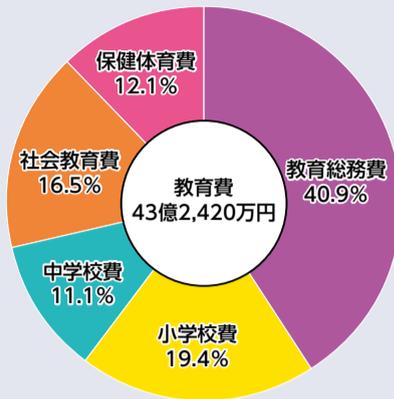


▲文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞

問合せ 教育指導課教職員係 ☎ 551・1944

令和7年度教育費予算の内訳

令和7年度福生市一般会計予算 295億9千万円が3月の市議会定例会で認定され、そのうち教育費は14.6%の43億2,420万円の予算額となりました。



教育総務費 17億6,685万2千円
教育委員会とその事務局、小中学校の教育指導に要する経費

小学校費 8億3,757万5千円
学校の運営、学校施設の整備に要する経費

中学校費 4億8,065万2千円
学校の運営、学校施設の整備に要する経費

社会教育費 7億1,300万1千円
公民館、市民会館、図書館、プチギャラリー、茶室の運営や、青少年の健全育成、文化財保護などに要する経費

保健体育費 5億2,612万円
体育館及び屋外体育施設の管理、スポーツの推進事業に要する経費

問合せ 教育総務課教育総務係 ☎ 551・1930

コミュニティ・スクール委員(学校運営協議会委員)を紹介します

コミュニティ・スクールは、保護者や地域の住民が一定の権限と責任を持って、学校運営に参加することによって、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、より良い教育の実現を目指して平成16年に制度化されました。

任期 令和8年3月31日まで(敬称略)

福生第一小学校	福生第二小学校	福生第三小学校	福生第四小学校	福生第五小学校
浦野 明宏	森田 幸春	郡司 光志	山崎 源太	撰梅 敏夫
津島 知津子	北島 浩子	中野 恵一	金子 康二	野村 亮
石橋 朋広	土谷 利美	後藤 朝美	三ツ木 美紀	春日 廣信
島田 令子	高橋 信行	中出 雅俊	高山 佐代子	瀬沼 圭子
斉藤 純一郎	原 佳寿美	山崎 道男	山田 由美子	杉本 雅希
金井 久典	佐々木 恵子	黒川 淳子	太田 泰之	副島 正巳
鴨下 修	高橋 和子	末永 考	並木 浩子	石川 博三
高橋 由美子	江藤 浩男	梅林 直樹	出雲 幸貴	田村 宏彦
篠崎 寿之	田中 秀和	村野 芳男	宮本 典幸	齋藤 悠
高瀬 智子	西村 学徳	浅倉 宏之	南方 孝之	泉田 巧人
福生第六小学校	福生第七小学校	福生第一中学校	福生第二中学校	福生第三中学校
青海 俊伯	宮崎 寿美代	土谷 利美	山田 眞一	板垣 和生
石田 智子	高山 浩之	中出 雅俊	下畑 成江	曾根 早苗
平井 成泰	板垣 和生	江藤 浩男	田村 光男	福原 敬三
古海 節子	村野 秀穂	松下 行輔	樋上 直子	持田 洸
高山 雅代	高取 克明	伊藤 弘大	守時 美結	渡邊 三代子
海 磨里子	池田 英津子	森本 恭子	厚谷 まゆみ	杉本 雅希
後藤 美子	梁瀬 博章	濱原 幸恵	青海 俊伯	瀬沼 圭子
肥沼 直美	木村 敦史	坂口 皆子	森田 利夫	深津 貴成
鈴木 瑞穂	上遠野 大介	北澤 充	細 洵 泰 運	佐藤 智香
富永 大優	菅野 恭子	金子 敏治	平井 貞昭	増木 一仁

令和7年度福生市立学校校長・副校長の人事異動

転入者及び市内異動(敬称略)

氏名	新任校	令和6年度所属
菅野 恭子	福生第七小学校校長	福生第一小学校副校長
長保 雄一	福生第一小学校副校長	日の出町教育委員会指導主事
中島 恵大	福生第二小学校副校長	福生第五小学校副校長
浅井 博行	福生第五小学校副校長	福生第二小学校副校長
熊谷 浩	福生第三中学校副校長	東京都教職員研修センター研修部教育開発課指導主事

転出者(敬称略)

氏名	前任校	令和7年度所属
山岸 史子	福生第七小学校校長	練馬区立泉新小学校校長
沼田 博明	福生第一中学校校長(特命担当)	勸奨退職
市来原 真茂	福生第三中学校副校長	西東京市立保谷中学校校長

問合せ 教育指導課教職員係 ☎ 551・1944

公民館運営審議会委員が委嘱されました

(敬称略)

公民館運営審議会は公民館長の諮問に応じ、また公民館の事業について調査審議する社会教育法に定められた審議会です。

令和7年4月1日付けで次の方々を委嘱されました。任期は2年間です。

問合せ 公民館公民館係 ☎ 552・2118

学校教育関係者	浅倉 宏之(新)	
	富田久美子(再)	三浦明日香(再)
社会教育関係者	中島 充夫(再)	宮川 敬子(再)
	佐々木恵子(新)	
家庭教育関係者	齋藤 悠(新)	
公募市民	三浦 佳江(再)	中根 浩(再)
学識経験者	伊東 静一(再)	

防衛省の交付金を活用しています

市では、安定的かつ効率的に事業を実施するために、防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を基金化して、次のような事業を実施しています。

事業名	問合せ
通学路見守り委託事業	教育総務課教育総務係 ☎ 551・1930
英語教育指導助手(外国人)委託事業	教育指導課指導係 ☎ 551・1538
市立学校ICT推進事業	学務課学務・給食係 ☎ 551・1948
防災食育センター維持管理等委託事業	スポーツ推進課スポーツ推進係 ☎ 552・5511
地域体育館指定管理委託事業	公民館公民館係 ☎ 552・2118
市民会館指定管理委託事業	

村尾家文書と熊川分水取水口

熊川分水取水口

ふくまめは、福生の文化財など福生に関する豆知識を紹介するコーナーです。



令和7年3月、福生市登録文化財第80号として「村尾家文書」が「福生市登録有形文化財」に登録されました。

「村尾家文書」は、土木業を営んでいた旧家に伝わった資料で、その点数は8280点に及びます。その内容は、明治時代から戦前にかけての工事関係の資料が中心となっており、福生の近代史を知るうえで、大変貴重な文化財です。

今回紹介するのは、この「村尾家文書」の中にある「熊川分水樋口之図」と題した図面です。調査によれば、明治時代が終わるころの資料と考えられます。図面に記載されている熊川分水取水口の水門は、現在も使われている水門です。

熊川分水は玉川上水の分水で、明治23年(1890)に完成し、熊川地区の生活用水、産業用水、かんがい用水として利用されてきました。時代は移り変わり、熊川分水は当初の役目を終えています。現在もこの取水門は、100年以上にわたり、玉川上水から熊川分水に、水を取り入れ続けています。



熊川分水取水口

問合せ

生涯学習推進課文化財係 ☎ 530・1120